

日本 J/24 クラス協会定時総会議事録

2013年9月21日17時05分より、兵庫県西宮市西宮浜4-16-1新西宮ヨットハーバー1階会議室において日本J/24クラス協会定時総会を開催した。

議決権のある正会員数	46名
出席した議決権のある正会員数 (委任状及び議決権行使書による者を含む)	33名
出席理事 松本 浩司 (TEMPUS) (議長兼議事録作成者)	
同 桂 禎之 (UP WIND)	
同 首藤 洋一 (TEMPUS)	
同 上松 慮生 (たぼはぜ JR)	
同 高野ユンタ (リトルママ)	
同 白濱 重敏 (WHITE SQUALL)	
事務局 室橋紅里子 (LULL)	

定刻に至り、司会・室橋紅里子が、以上のとおり議決権のある正会員の過半数に相当する正会員の出席があり、本総会は適法に成立したので開会する旨を宣言した。次いで、規約21条に基づき、会長の松本浩司が議長に就任し、議案の審議に入った。

決議事項

第1号議案 2012年度収支決算案承認の件

議長は、日本 J/24 クラス協会の会計がここ数年赤字になっていることを説明し、ワールド誘致などの方法で会員数の増加を目指すことや、場合によっては会費の値上げも視野に入れることなどにも言及しつつ、2012年度収支決算案の承認を求めた。総会は、2016年のワールド誘致に関する質疑応答のほか、以下のような内容の審議をへて、満場異議なく当該収支決算案を承認可決した。

(審議・質疑応答の概要)

質問：理事会交通費について工夫をしているか。

議長：出張にからめたり、低コストの交通機関を使ったりして気を付けている。

質問：世界的にみて J/24 の活動はどうなっているか。

議長：数年ぶりに WCM に出席したが、IJCA の組織は従来通りきちんと機能してい

る。ただ、以前と比べて新艇はおりていない。IJCA では、北米、欧州、北米、欧州、その他の地域の順番でワールドを開催しており、2016 年がその他の地域の開催となり、現在手をあげているのは日本のみ。10 月の WCM で日本開催が決定される見込み。

質問：ワールド開催に向け、スポンサーに関する構想はあるか。

議長：少しずつ動いている。総会に出席されておられる方は熱心な方ばかりで、皆様にもご協力をお願いしたい。委員会を設置することも考えている。なお、ワールド開催に向け大きな課題の一つが、チャーターボート。いい艇があれば、世界トップクラスの選手の参加がありうる。

質問：新艇は何艇くらいあればよいか。

議長：8～10 艇くらいが理想。IJCA では、ワールド参加は 40 艇以上を目標としている。現在 IJCA に加盟していないが、韓国やシンガポールの J/24 セーラーもまきこんでいく必要があると考えている。

以上をもって本総会における全議案の審議を終了したので、議長は 17 時 30 分閉会を宣言した。

上記議事の経過の要領及びその結果を明確にするため本議事録を作成し、議長が次に署名する。

2013 年 9 月 21 日

日本 J/24 クラス協会

松本浩司

議長・理事 松本浩司